

武雄市図書館・歴史資料館 特別企画展

武雄の時代

西洋砲術導入の軌跡

IN HEILIGENHOF 1835.
(HOLLÄNDISCH)

ELEPHANTENGEWÄHR IN JAPAN.

平成24年

2/11(土) ▶ 3/20(火)

会場 / 武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 武雄市武雄町大字武雄5304番地1
TEL.0954(20)0222 FAX.0954(20)0223

開館時間 / 9:00~17:00
 休館日 / 2月13日(月)・16日(木)・20日(月)・27日(月) 3月5日(月)・12日(月)・15日(木)・19日(月)
 観覧料 / 無料
 主催 / 武雄市教育委員会、武雄市図書館・歴史資料館
 後援 / 佐賀新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞佐賀支局
 NHK 佐賀放送局・STS サガテレビ・(株)ケーブルワン・NBC ラジオ佐賀

モルチール砲
武雄市重要文化財
(武雄鍋島家資料 武雄市)

0954-200222-0223 0954-200223

展示解説 / ●2月11日(土)13:30~ ●2月25日(土)13:30~ ●3月11日(日)13:30~ ●3月20日(火)13:30~

武雄の時代

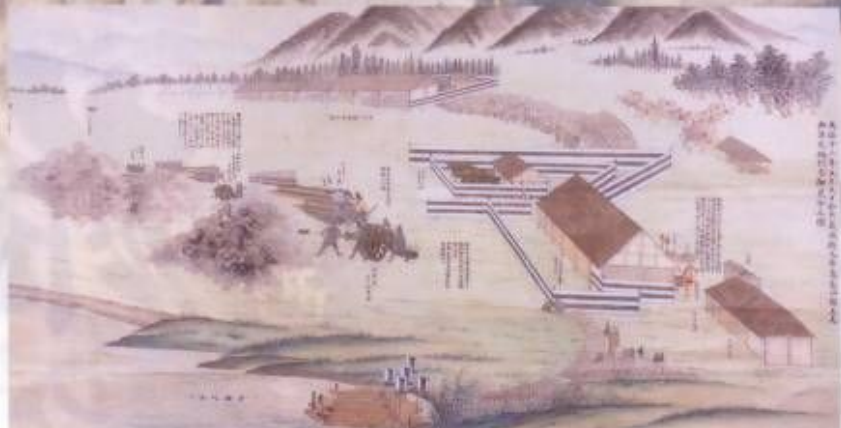
西洋砲術導入の軌跡

武雄領主鍋島茂義は、1832(天保3)年、当時、西洋砲術の第一人者であった長崎の高島秋帆のもとに家臣の平山醇左衛門を入門させます。さらに2年後には茂義自身も入門して砲術と大砲製造の基本原則などを学び、36年には高島流砲術の免許皆伝を得ました。1837(天保8)年9月16日、武雄領内真手野での砲術訓練では、「旦那様(茂義のこと)、ボンベン、御自身御詰め込み遊ばされ候末、右玉、御試し打ちあそばされ候」と、自ら大砲の放射を行なうほどに習熟を遂げていたことも確認できます。

武雄での砲術研究と西洋式訓練の成果は、茂義の弟で佐賀本藩家臣の養子となった坂部三十郎により佐賀に伝えられ、藩主鍋島直正のもとで新たな発展を見せました。

1840(天保11)年、茂義は佐賀城の東方、神埼郡の岩田で、藩主鍋島直正に武雄の砲術を披露。この大演習に大きな刺激を受けた藩主直正は西洋砲術の積極的導入を決意し、以後、佐賀藩として本格的な砲術研究の取り組みが開始され、西洋式大砲の製造や長崎港防備のための砲台築造の計画が着々と進行していくこととなりました。

今回、武雄市資料館では、武雄から始まる西洋砲術の取り組みと蘭学の導入、それが佐賀藩や幕末日本の近代化に果たした軌跡をたどる特別企画展を開催します。



徳丸原演砲見分之図(松月院)



大砲製造絵巻(佐賀県立佐賀城本丸歴史館)



阿蘭陀直伝高島流砲術巻(板橋区立郷土資料館)



荻野新流臼砲(長崎歴史文化博物館)

MAP



武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 武雄市武雄町大字武雄5304番地1
TEL.0954(20)0222 FAX.0954(20)0223
URL <http://www.epochal.city.takeo.lg.jp>
Mail epochal@epochal.city.takeo.lg.jp